

# 「自己免疫性胃炎において性差が病態に与える影響」に対 するご協力をお願い

研究責任者 森 英毅  
研究機関名 慶應義塾大学医学部  
(所属) 内科科学教室(消化器)

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

2012 年 7 月から 2024 年 8 月に慶應義塾大学病院において自己免疫性胃炎と診断された方。18 歳以上の方。

## 2 研究課題名

承認番号 20241128

研究課題名 自己免疫性胃炎において性差が病態に与える影響

## 3 研究組織

### 研究代表者

慶應義塾大学医学部内科学（消化器）専任講師 森 英毅

## 4 本研究の目的、方法

自己免疫性胃炎は、体の免疫システムが自分の胃の粘膜を攻撃してしまい、慢性的な炎症を引き起こす病気です。この病気は他のいろいろな病気と関連があることが報告されていますが、研究がまだ十分ではありません。また、女性に多いという報告がありますが、性別の違いに伴う併存する病気の頻度や胃がん発生率についての知見に乏しい現状です。この研究の目的は、自己免疫性胃炎と関連する病気の性別ごとの割合や、それらの病気が自己免疫性胃炎の発症にどのような影響を与えるかを調べることです。この研究を通じて、自己免疫性胃炎と関連する病気や内視鏡検査で見られる所見、胃がんの発生率を体系的に評価し、診断や治療に役立つ情報を見つけることを目

指しています。

## 5 協力をお願いする内容

患者様に新たに何らかの協力・負担をお願いすることはいたしません。

具体的には、以下の情報を診療録より抽出いたします。

年齢、性別、血液検査（血算・生化学[抗胃壁細胞抗体、抗内因子抗体、TP, ALB, TB, UN, Cre, UA, Na, K, Glu, HbA1c, HDL, LDL, LD, AST, ALT, ALP, GGTP, AMY, Fe, TIBC, UIBC, v-B12, WBC, Hb, plt, TSH, TRAB-C, TGAB, TPOB, GAD-AB, IA2-AB, ガストリン, CRP, フェリチン, CEA, CA19-9, NSE]）、内視鏡所見（木村竹本、逆萎縮パターン、胃趨壁の消失、帯状・島状残存胃底腺、粘液付着、白色突起、酸分泌腺の萎縮、壁細胞の減少、ECL 過形成、初回内視鏡日、最終内視鏡日、胃がん、腺腫、過形成ポリープ、胃内分泌腫瘍）、胃腫瘍の有無・部位・ステージ・組織型・大きさ）、内服薬・既往歴・併存疾患・ピロリ菌検査情報：UBT(尿素呼気試験)値、便中抗原、血中抗ヘリコバクターピロリ抗体、胃生検ピロリ菌培養、胃液ピロリ菌 PCR、過去の除菌回数

これらの情報をもとに、自己免疫性胃炎の実態調査を行います。

## 6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026 年 12 月 31 日

## 7 外部への試料・情報の提供

・慶應義塾大学病院から外部への試料・情報の提供はありません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学病院における問い合わせ窓口

研究機関名： 慶應義塾大学医学部 所属：内科学（消化器） 氏名：森 英毅

住所 東京都新宿区信濃町 35

電話： 03-5363-3790

FAX： 03-3353-6247

以上